

平成 30 年 1 月 4 日

各 位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

### 取締役社長 兼 最高経営責任者 長岡 孝 2018 年 年頭所感

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 兼 最高経営責任者 長岡 孝)は、年頭挨拶として、社長から全役職員に向け、メッセージを送りました。社長メッセージのあらまは以下のとおりです。

あけましておめでとうございます。健やかに皆さんとともに新年を祝うことができますことを大変嬉しく思います。

昨年は、我が国では日経平均の連続上昇日数記録の更新という好材料もみられた一方で、海外ではトランプ政権の政策展開、ブレグジットに向けた欧州連合の動きのほか、北朝鮮情勢の緊迫化という地政学リスクの高まりなど、多くの変化のなかで方向感の見定めが難しい状況でありました。

また、金融業界においては、仮想通貨の普及、フィンテックの進展など、ビジネスモデルを根底から覆す可能性のあるイノベーションが加速度的に展開されています。

このような激動の環境下、我々は過去の経験の延長線上にない非連続の変化に適切に対応していくために、より一層お客さま起点で付加価値高く、サービスのコンテンツおよびビジネスモデルを進化、変革していかねばなりません。

「MUFG 再創造イニシアティブ」の柱として掲げた、「顧客軸・事業軸でのグループ一体ビジネスの追求」、「デジタルを活用した事業構造改革」、「生産性向上」、「グループの経営体制の再構築」、の各イニシアティブへの取り組みを通じて、グループ業態各社の壁を越え、お客さま起点で MUFG 一体となったクオリティの高いサービスを提供していくことが強く求められる年です。その為にも、現中計の重要施策として掲げた『人が育つ組織の好循環を企業文化として定着』させる取り組みを加速化し、その結果として「お客さまから最も信頼される証券会社」としての評価を確立した時に、私たちの存在価値が大きく見出されることとなります。

現行中期経営計画の総仕上げと、次期中期経営計画のスタートという節目のこの時期に、あらためて皆さんとともに行動軸を共有し、また、このような激動の時代にこそ、成長のチャンスも大きいことをよく認識して、一丸となって我々の会社を進化させ、サステナブルな成長をなしとげて参りましょう。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

以上